



新居浜市瀬戸会館



〒792-0821

新居浜市瀬戸町7 - 30

Tel : 0897-41-5859 (Fax 兼用)

E-mail : seto@city.niihama.ehime.jp

新居浜市との瀬戸・寿上水道組合に関する意見交換会開催されました

9月1日(月) 19時から瀬戸会館において開催された標記意見交換会には、当組合から組合長以下、水道委員と各自治会長、新居浜市からは石川市長をはじめ企画部長、水道局長(職員)等が参加して行われました。

組合長、市長のあいさつから始まり、上水道組合の現況と管理費用について、新居浜市の担当者から報告説明があり、以後意見交換を行いました。

今回の意見交換会をとおして、地域の歴史に学ぶとともに、新居浜市における上水道組合に対する考え方など、参加者が幾分か理解できたのではないのでしょうか。

新居浜市の基本的な考え方には、上水道問題は、旧泉川町の時代に端を発する歴史的な経緯、経過のある問題と捉えることが必要不可欠であります。今後、このような自由に情報や意見を交換する場として、会を積み重ねることが大切になってきます。

十人会は毎週木曜日

19時まで瀬戸会館事務所を開放しています。

たわいもない話やどうも人には相談しにくい事など、何でもかまいません。

お気軽にお立ち寄りください。

なお、10月16日は秋祭りのためお休みします



消防訓練



9月11日(木) 午後から 新居浜南消防署の協力を得て瀬戸会館・瀬戸児童館合同の消防訓練を実施いたしました。瀬戸会館では当日サークル活動で来ている利用者や当職員、児童館では、年中さん親子・児童館職員参加のもと、館長の「調理室から出火」の声で訓練が始まりました。利用者への避難誘導、児童館への報告・避難要請、消防署への連絡など手順にそっておこないました。

瀬戸会館駐車場にて、消防署職員の指導で、水消火器を使い子どもたちが順番に操作。水の勢いに子どもたちはビックリ！興味いっぱい消火器を操作していました。

その後、「トラさんの消防隊長」というDVDをまばたきひとつせず真剣に見ていました。

火遊びは絶対にしない事と消防職員さんにいわれると「は〜い。」と元気のあるお返事がかえってきました。

消防車の前ではいポーズ



十月の主な行事予

★移動図書館青い鳥号

十月一日(水)二十一日(水)

十四時〜十四時四〇分

★「人権のつどい日」

十月十一日(土) 十時〜

「インターネットによる人権侵害について」

★絵本の読み聞かせ

『さくらクラブ』 泉川小学校放課後児童クラブ

十月七日(火)・二十一日(火)

★回転木馬

瀬戸児童館

十月二十一日(火)

十時三十分〜十一時三十分

★人権・同和教育関係行事

第二十五回四国ブロック隣保館女性職員研究会

第十二回全国女性職員研修会 (徳島県)

十月二日(木)・三日(金)

平成二十六年度東予地区人権・同和教育

研究協議会(上島町)

十月二十二日(水)

第五十一回全国隣保館職員四国ブロック研修会

十月二十三日(木)・二十四日(金)

人権あらかると

「自分たちのまちを自分たちで創造していく」ことが求められています。地域のなかで、高齢者や障がい者、ひとり親家族、女性や子どもが安心して暮らしていけるまちづくり運動に取り組むことが重要である。介護・福祉サービス、ヘルパー資格取得の取り組みなど、雇用創出や人材育成に向けた活動とも合わせて、一人ひとりの「生きがい」「社会参画」を実現する支援施策の充実に取り組んでいきたいものです。

そのためにも、必要なサービスや自立支援の施策を行政に求める運動を強化するとともに、「地域福祉計画」の具体化に向けて、社会的支援を必要とする人が排除されることのない地域福祉運動を、地区内外の力で取り組んでいきましょう。

東予地区人権・同和教育研究協議会社会教育部会(A分散会)
実践報告者 中萩公民館主事 竹内宏江さん

『人権・同和教育との関わり』について事前報告内容の概要

同和教育に関わる方々の日々熱心に啓発する姿や思いに強く影響を受け意識を深めていった。人権劇に携わっているさまざまな人たちとの関わりの中で仲間同志の助け合い、声掛け、共に一つの物を作り上げるという達成感。差別をなくそうと頑張っている仲間。継続して活動していくことの大切さを再認識していった。公民館職員としての関わり、人権問題・同和教育や人権・同和教育についての知識を深めていった。お茶の間人権教育懇談会を進め、人権講座を開講、人集めには苦労したが、「自分の思っていたことが誤解だったと分かってよかった」などの意見をいただいた時は苦労も忘れることができた。

又、瀬戸会館(隣保館)事業の地域交流事業として、紙バンドサークル活動に講師として参加し地域の方々との交流を図っている。その中で未だに「寝た子を起こすな」という話が出てくるという。まだまだ人権啓発、人権・同和教育が必要だと感じる。

なぜ、今人権・同和教育が必要なのか。理解してもらえるように地域の方々とともに努力していかなければならない。本日ここから、新たな一歩を踏み出すことを自分自身に確認したいと思う。

こころの健康をめぐる現状

NPO 法人 【こころ塾】のセンター長 村松つねさんから「人ごとから、自分ごとへ」と題し講演がありました。人は誰もがストレスをかかえながら生活していてストレスを感じたとき、きちんと休養や睡眠をとることが大切だそうです。ストレスは大きく分けて(病
気・ケガ・睡眠不足等)の肉体的ストレス・(仕事が多忙・借金・人間関係の問題・家庭不和等)の心理的・社会的ストレス、(気温、騒音、花粉等)の物理・科学・生物的ストレスの3つに分かれます。そのストレスが重なるとストレス反応が体に出たり心に出たり行動に出たりします。体にでる場合は肩こり、目の疲れ、脱毛、不眠、自律神経の乱れなど、心に出る場合は不安・落ち込み・イライラなど、行動に出る場合は暴言・暴力、暴飲、暴食などです。これらすべてが心の病のサインを出しているそうです。瀬戸会館ではそういったサインを少しでもキャッチして自分だったら、自分の家族だったら、親戚だったら大切な人だったらと置換えられる自分づくりをしたい。また、そんな居場所作りができる瀬戸会館にしていきたいと思います。



瀬戸会館からのお知らせ



先月号で食器棚のご寄付をお願いしていましたが、この度、西本勉さんから素敵な食器棚をいただきました。さっそく使わせていただいています。本当にありがとうございました



瀬戸会館のシンボルでもある広報塔の整備が終わりました。ご覧のように真っ赤に錆びていた広報塔が落ち着いたグレー色で青空に映えています。

瀬戸・寿連合自治会

